

工学研究科 指導計画

1.研究科概要		数理工学専攻 [修士課程] 本専攻では、学部教育で得られた数理工学の知識に加え、自然現象、社会現象に対してその本質を見抜き、理解し、実際の問題解決に役立てることが出来る力を養成します。具体的には、モデル構築と解析を2つの主な柱とする数理工学の専門知識と、コンピュータを思考の一部として高度に使いこなす力を身に付け、予測できない社会の急激な変化に柔軟に対応し、将来にわたって最前線で活躍できる人材を育成します。
		建築デザイン専攻 [修士課程] 本専攻は、建築デザインを工学から芸術まで広範な領域にまたがる建築学の知見を統合する術として捉え、この力を身に付けて希望ある未来を切り拓くことができる、高度専門職業人及び研究者を養成します。
2.取得可能学位		修士（工学）
3.指導計画		
審査種別：		修士論文・特定課題研究（修士制作）
1年次	4月（入学）	指導教員の確認（原則、希望する指導教員への出願前の連絡をもとに、面接の上、指導教員を決定）以後、指導教員による研究計画書に対する指導を行う
	4月中旬～5月上旬	指導教員・題目届の提出（MUSCAT 通知） 学生→指導教員へ提出
	11月～2月中旬	修士論文の作成に資するレポート作成方法などの指導
	～2月下旬	修士論文公聴会への出席
	～3月	指導教員のもとで個別研究指導
2年次	4月中旬～5月上旬	指導教員・題目届の提出（MUSCAT 通知） 学生→指導教員へ提出
	11月	様式、論文審査願の確認（MUSCAT 通知）
		主査・副査の決定（研究科委員会）
	1月	学位（修士）論文の提出
	～2月中旬	最終試験
	～2月下旬	公聴会
	3月	修了判定（研究科委員会）
3月（修了式）	学位記交付	